

定例山行報告

2017年2月26日提出（提出者 J.MIKAMI）

山名：月見野森林公園

山行期間：2017年2月19日（日）

参加者：15人

CL K.TSUSHIMA SL N.NAMURA 他13名（計15名）

コースタイム

駐車場出発9:20→月見野ただの分岐休憩9:56→出発10:03→東屋着10:16
東屋発10:28→頂上（252m）着10:43→頂上発10:52→分岐10:58→
ロッジ着11:30昼食→12:00ツェルト張り→12:27ビーコン操作練習→ロッジ発
14:05→駐車場着14:31→終会14:39 解散

準備会にて、当日は気温が下がり寒いので、防寒対策をしっかりと話があった。

<駐車場着 9:11>
皆さん車の中で、集合を待つ。
リーダーより①ビーコンスイッチの確認
②交代ラッセルと話あり。

<この辺 9:35~9:42>
コンパスを使い、行く方法を確認。

登りのため、スノーシューの踵を立てる。

<東屋休憩 10:16~10:28>
コンパスで進む方向を確認。
前の人にただついていかないよう指示あり。

雪は霰状、ブッシュの新芽も見られる

<分岐で休憩 9:56~10:03>
①冬の衣服調節
休憩時は寒くないように小まめに着ること。プロの方々は上にダウンを羽織ることもある。
②ただ前の人に付いて行かない。（自己意識を持つ）
③夏以上にコンパスでまめにしっかり行く方向を確認すること。

少し吹雪く

<頂上 252m 到着 10:43>
鉄塔あり。真下を新幹線が通過しているという事。
集合写真撮影 10:52 出発

フワフワ雪

霰
フワフワ雪
ちよい吹雪

<ロッジ前 11:30~14:05>
昼食（甘酒で暖まる）→ツェルト張り
→ビーコン練習（詳細は次ページ）

冬季は休めば休むほど体が冷えて寒くなる
ゆっくりでも歩いた方がいい。

<駐車場着 14:31>リーダーの話がうかがい<解散 14:39>
雪模様ながら、今冬の雪不足でブッシュや整備された階段が雪から
しっかりのぞく条件下、コンパス使用法、ツェルト張り法、ビーコン
使用法を実践的にしっかり学べて、初心の記録者の私には学び多い
山行となった。ありがとうございました。